

## 令和6年度 アメリカ交流校訪問

8月25日から9月1日にかけて、アメリカのカリフォルニア州のウエスタンハイスクールを訪問しました。ウエスタンハイスクールでは9年生～12年生までの4学年の生徒が同じ校舎で学習していますが、中高一貫校への移行の準備を進めています。2回州の優秀校に選ばれており、タイガー・ウッズの母校でもあります。ロサンゼルス空港からバスで40分ほどの郊外にある豊かな自然に囲まれた学校で、2,000人近くの生徒のほとんどは自家用車か家庭の送迎で通学しています。授業は55分×6時間で実施され、休み時間は移動のための5分と昼休み30分のみで、Announcementsの時間が22分あります。日本語の選択クラスがあり、多くの生徒が受講しています。ICTの整備状況を含め施設は素晴らしく、テレビのスタジオのような教室で学校のディリーニュースがほぼ毎日作成され、YouTubeに投稿されています。その他にも3Dプリンター等のある起業家を育てるための多目的ラウンジ、観客席とステージのあるダンススタジオや、吹奏楽・レスリング等個別に部屋があり、工業高校にあるような設備もあり木工制作が可能な施設、アメリカンフットボール場やグラウンドも広く、テニスコートも10面ぐらいありました。各教室に書画カメラ1台とモニターが1～2台あり、授業も比較的ベーシックな内容からAPクラスという大学の単位が取れるクラスなど様々なレベルのクラスが展開されています。日本の部活動の時間は選択授業に該当し、授業中に活動が行われています。

### 1日目 8月25日(日)

成田空港午後5時出発のフライトを経てロサンゼルス空港現地時間午前11時25分に到着し、バスでウエスタン高校へ向かいました。受け入れてくださった4家庭はみなフレンドリーで、生徒もほっとしたようです。



広い駐車場

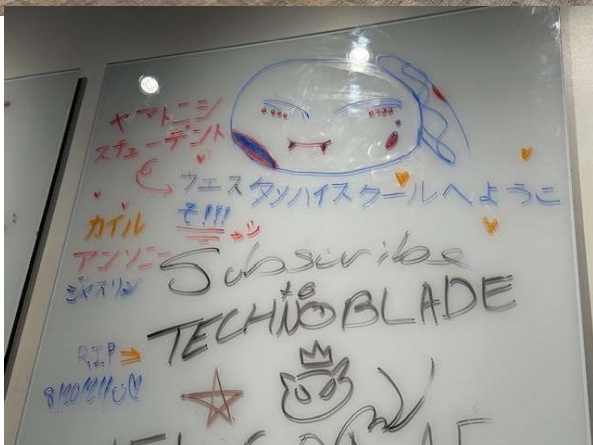
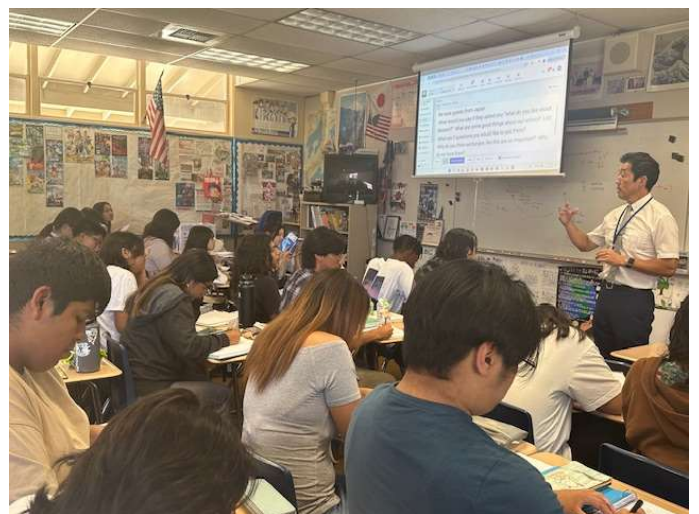


飛行機内で真ん中の席でしたが、両隣の人に恵まれて問題なく過ごせました。着いて道路を見ると、日本より道路の幅が広く、運転が荒く感じました。その後ホストファミリーとドライブに出かけたら、道路の真ん中を歩く変な人たちがいました。ホストファミリーのお兄さん曰く、移民が多く、ルールを知らない人がいるのでは、とのことでした。お店に行くと、店先にスイカが大量に詰め込まれた段ボール箱を見てびっく

りました。またウェットティッシュが置いてあり、食べ歩きに寛容だと感じました。お店の人は基本優しく、何度聞き返してもきちんと返してもらえました。(生徒の日記より)

2日目 8月26日(月)

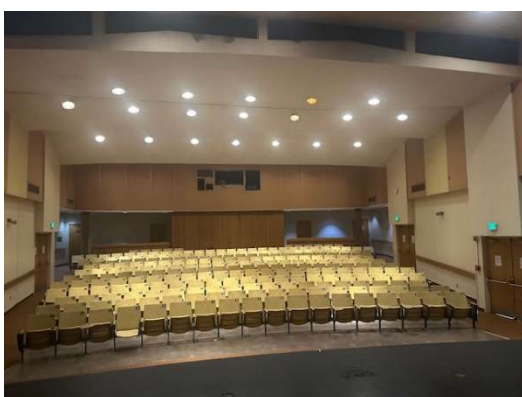
今日は授業の1日目です。登校するとバディとチアリーダーが歓迎してくれました。2時間目はウエスタン高校のDaily newsに出演しました。6時間目はバディのベトナムの獅子舞を見学しました。



学校初日でチアとバディに歓迎された後、バディと日本語のクラスを受けたりストリーミングに参加したりした。科学の授業とか学習していることは高2レベルだが、専門用語が多くて理解に苦しんだ。お昼ご飯の主食が手違いでサラダになってしまって足りない。ブロッコリー生だし変な人に絡まれるし…。放課後は犬の散歩に行ってから他のホストファミリーとメキシカン料理を食べたあとダウントウンディズニーと一緒にいった。1人でスタバで注文できたのですごく自信がついた。(生徒の日誌より)

### 3日目 8月27日(火)

1時間目は3DプリンターのあるILab(Incubate laboratory)でマシュマロビルディングをしました。起業家精神を培うための部屋で、生徒の作品が展示されています。3時間目はBand Classを訪れ、マーチングバンドの練習を見学しました。吹奏楽部の部員はバンド練習に参加しました。4時間目はダンスクラスでマイケル・ジャクソンの歌に合わせて踊りました。ステージと観客席のあるスタジオでの練習です。



1時間目は建設の授業で、マシュマロチャレンジなるものを行った。マシュマロ・スパゲティ・つまようじと木の棒などで高いか芸術点でトップを狙う。やったことある人が多いのではないだろうか。私もあるの。化学は割合から物質が何か特定するもので難しかった。時間はかかるができないほどではなかった。吹奏楽の授業はすごくおもしろかった。吹奏楽部員が一人来ていたので一緒にトロンボーンを吹いていた。曲もカッコよかった。先生は転勤がないとのこと。次がダンス。頭でわかってるのにまったくもってできず、滑って転んでしまった。パイ投げ楽しかった。明日ナサニエルが push&pull の pull らしい。ぜったい投げてやる。日本語の授業では積極的に取り組んだ。アメリカでは Second grade が junior らしい。高1になってしまった。6時間目はプールサイドで話した後、図書室へ行って帰ってすぐドジャースタジアムに行った。ホットドッグとコーラで野球観戦が昔ながらのスタイルだとのこと。写真を撮り忘れるほど hot で楽しかった。但しドジャースは負けて悔しいようだ。本場はやっぱりブーイングが違う。結構本気で怖かった。9回裏、ランナー1塁ツーアウトツーストライクスリーボールの全員スタンディングは震えた。途中バナナアイスで気分が悪くなったのは一生の不覚。マイケルさんはそのあと落ち込んでいた。良い試合だったのに。(生徒の日誌より)

We went to a supermarket to buy souvenirs. After that we went to a restaurant to eat Italian food. Then, we went to Knott's Berry Farm, but the stores were closed there. So we went to the Downtown Disney District again. We wanted to watch fireworks, but we couldn't because they did not start until Halloween was over. However, I was glad because I was able to buy bottles for my older brother at the Starbucks in the Downtown Disney District. (生徒の日誌より)

#### 4日目 8月28日(水)

1時間目はデッサンのクラスで、靴の一筆書きに挑戦しました。5時間目は初めてのレスリングに挑戦しました。参加する前は「やったことない」としり込みしていた生徒たちも、終わった後は一人スカウトされていました。

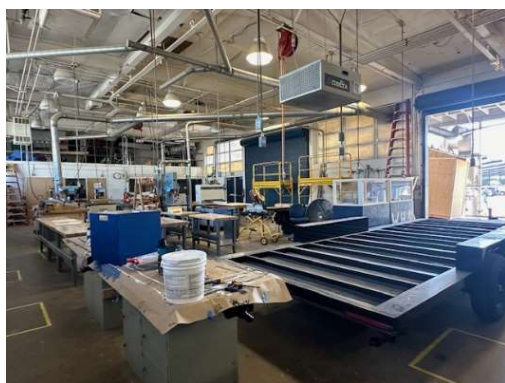


お昼の後の授業でレスリングをした。すごく難しくて全然人形を投げられなかったけれどいい経験になった。放課後は大きなスーパーのようなところに行ってアメリカのお菓子を沢山買った。日本とはスケールが違って面白かった。(生徒の日誌より)

#### 5日目 8月29日(木)

前日保護者会があったからか、この日は late start で、48分×6時間です。1・2時間目は木工の時間で、それぞれ好きな色でボードを作りました。板を裁断し、削るところからスタートしました。5時間目は

日本文化の紹介を行いました。6時間目はバンドのクラスで初めての楽器に挑戦しました。バンドメンバーたちが優しく教えてくれました。



今日は音楽があって、私はフルートに挑戦しました。吹くのは初めてだったので、1から教えてもらったのですが、優しく教えてくれて、コミュニケーションもたくさんとれたので良かったです。お昼の時間もたくさんの方が話しかけてくれてコミュニケーションが取れたので良かったです。(生徒の日記より)

6日目 8月30日(金)

1時間目はクッキングの時間でチーズサンドとショートブレッドクッキーを作りました。3時間目は最後のビデオ出演、そして6時間目はお別れ会でした。一人一人修了書をもらい、記念写真を撮りました!



7日目 8月31日(土)・9月1日(日)

8時45分にウエスタンハイスクールに集合して、ロサンゼルス空港へ向かいました。ホストファミリーとお別れです。「また来てね」と招待されていました。台風が心配されましたが、運良くそれており、予定より30分早く成田空港に到着しました。

広大な敷地の中にゆったりと配置された校舎で、最新の設備が整えられた環境で生徒たちがのびのびと学習活動を行っており、フレンドリーな優しい生徒が多い印象を持ちました。また日本語を多くの生徒が選択履修していることなど非常に親日的な学校です。今後の訪問を通して、本校生徒が教育活動に参加するなどあらゆる可能性が広がってくると期待しています。

約1週間ロサンゼルスで過ごして、アメリカと日本の高校の違いや過ごし方、どんな人がいるかを知った。何か間違っていたり、知らなくても皆寛容でとても過ごしやすかった。動画撮影やマシュマロタワー作り、レスリングなど初めて参加する授業が楽しく、いろいろな人と会話できた。それぞれ自分の考えを持ってちゃんと発言できる人たちが多いと思った。この1週間で様々な体験をしてこれからの人生への考え方が少し変わった。行けてよかったと思う。(生徒の日記より)



飛行機内で隣に座っていた夫婦が私が英語がわからないと理解してくれて、ジェスチャーで会話をしました。海外の人は、少しでも良いことをすると、目を輝かせてお礼をいってくれるので、するだけで心が温まります。隣の先輩の寝方にCAさんがドン引きしていて面白かったです。(生徒の日誌より)

### 生徒の感想より 研修を通して学んだこと

- \*現地の雰囲気や制度など日本にない物を感じた、会話のスピードや内容、スラングなど英会話の面でも学びを得た。
- \*国の気候やどんな人々がいるのかをこの目で見ることで、とてもいい経験だった。ロサンゼルスはとってもいいところだと思った。
- \*ホストファミリーと約7日間過ごして生活の仕方を知ることができた。アメリカの学校は日本には無い授業があって体験がとても楽しかった。Western 高校は多くの生徒が自身の考えを持っている。選挙に関しても色々な情報を知っていて日本とは違うと思った。
- \*治安が良いところを選んだのは十分承知なのですが、警戒心が強い初日に荷物を砂浜に放置するようすすめられ、無事に荷物が返ってくるなんてあまりに治安が良すぎて最高過ぎました。それと、アメリカの方が地域愛と愛国心とフレンドリーって凄くないですか？初日に隣人がジャム用の無花果採りに来ていたんですけど？日本ももともとこうだったのかなとか思って心が温まりました。
- \*授業以外の現地の人がよく使う言葉
- \*自分が16年間で得た価値観はある一部の地域のある一部の物に過ぎない。というのも、何も言わずに食べはじめ、食品を捨てることに対して全くためらわないところや、授業を同じルーティーンの繰り返しで生活していたり、地域愛そして愛国心を持つ為スポーツや外出には全力を出し、またこれは以前から知ってはいましたが、教室を自分から移動するのが当たり前だったり、5分休みであったり、授業時間がぐちゃぐちゃだったり(Lunch Break 12:47-13:17 / 5時間目 13:22-14:17 / 6時間目 14:22-15:17)で、私の価値観が壊され、且つ新たに学べたことだと思います。
- \*アメリカの高校では日本と違い、将来に向けたビジネスの勉強ができ、日本では専門学校や大学で学ぶことを高校で学ぶことができるとわかった。
- \*英語の文法が完璧じゃなくても問題なく伝わること、話そうという挑戦が大切だということがわかった。
- \*割とジェスチャーで言語の壁は越えられる。文化圏は違っても仲良くする、親切にする、手伝うなどすると輪が広がる。
- \*食事の量に気を付けること。